

～気づき、行動し、ともに成長する子の育成～

# あさひ



旭川市立朝日小学校  
学校だより  
開校記念日 特別号  
平成28年8月26日

## 9月1日(木)は、旭川市立朝日小学校の 108回目の誕生日です！

朝日小学校は、明治41年4月1日に上川第四尋常小学校として開校しました。

この頃ころの校舎は、6条通り15丁目にあり平屋の木造作りの校舎でした。

校章は、今とは違って、6つのペン先の型の中央に「四」の文字が配されていました。

開校当時は、8学級に475名の子どもたちが学んでいま

た。実は、6条通り14丁目にあった上川第二尋常小学校(後

の大成小学校)の児童数が多くなり、明治40年5月に6条通

り15丁目に校舎を作り441名の児童が移動しました。その

学校を翌年、上川第四尋常小学校として開校したのです。

大正7年4月(開校10年目)、学校名を旭川区朝日尋常小学校と改称しまし

た。開校当時、学校所在地が旭川市の最東部に位置し、北海道の山「大雪山連峰」

から朝日が昇るごとく、元気はつらつとした子どもが育つことを願って『朝日』とい

う校名にしたそうです。学校名が変わったことから、5月に校章を(現在のもの)

を制定しました。図案考案者は、羽田四郎訓導です。

「校紋は校名に因み、それに金鷄を配し、元気あるものの

瑞祥あるものを以て表示す」(校章は、朝日という校名に

ちなみ、中央に「朝日」を、それに「金の鷲」を配したもの

で、喜ばしい兆しのあるものを示しています)

\*金鷄とは、金色のトビが神武天皇の弓にとまり、敵軍がその輝きに目が眩み、敵軍

に勝利したという神話・伝説に出てくる金色のトビです。(日本書紀)

上川第四尋常小学校校章



明治41年～大正7年3月



たいしょう ねん がつ あさひかわ く じょうどおり じょうどおり ちようめ げんざい ぼしよ にかいだ  
 大正10年9月には、旭川区5条通6条通21丁目（現在の場所）に2階建  
 もくぞう こうしや しんちく にだいめ こうしや いてん ころ がつきゆう じどうすう  
 て木造の校舎を新築（二代目の校舎）し移転しました。この頃は、24学級で児童数  
 は1500名を超えていました。

たいしょう ねん  
 大正13年5月には、  
 こうか せいてい  
 校歌を制定しました。

しょうわ ねん がつ  
 昭和4年1月には、  
 けいめいしょうがっこう かいこう  
 啓明小学校が開校し、  
 じどう めい いどう  
 児童487名が移動しま  
 した。というも、しょうわ  
 3年には、朝日小学校  
 は、38学級で約25  
 00名の児童が学んでい  
 る大規模校となっていた  
 ため、これ以上教室が  
 ないという状況だったのです。

### 朝日小学校々歌

作詞 木原 百太郎  
 作曲 工藤 富次郎



#### <朝日小学校の校歌について>

こうか がっこう どうじ ひとひと がっこう まな こ ねが おも  
 校歌は、学校をつくった当時の人々が、学校で学ぶ子どもたちに対していろいろな願いや思  
 いを込めているものです。  
 それでは、朝日小学校校歌には、どのような願いが込められているのでしょうか。

【歌 詞】		【歌詞に込められた願い】
I 清き心を 流れに比べ 旭ヶ岳に 学びの道に	いしかり 石狩の 雄々しさを きおいつつ 進まん	⇒ 清い心を 石狩川の清らかな ⇒ 流れと比べながら たくましい姿は ⇒ 旭 岳の姿と 競い合って ⇒ 学問の道を 進んでいこう
II 北の鎮めの 学びの庭に 勉め励みて 高嶺の桂	な 名にかよう 栄あり もろともに 目指さん	⇒ 北方の平和を守っていることで 有名な ⇒ 朝日小学校が 一層繁栄していき ⇒ 一生懸命勉強して 全校児童が ⇒ 高い山の上に立っている立派な桂の木の ように立派な人となるよう 目指していこう

しょうわ ねん がつ こうめい あさひ こくみんがっこう かいしやう  
昭和16年4月、校名を朝日国民学校と改称しました。

しょうわ ねん がつ ろくさんせいじつし あさひかわ しりつあさひ しょうがっこう かいしやう  
昭和22年4月には、六三制実施により旭川市立朝日小学校と改称しました。

しょうわ ねん がつ しんせいちゆうがっこう あさひかわ しりつだいよんちゆうがっこう がつきゆう めい  
昭和22年5月には、新制中学校（旭川市立第四中学校）5学級（301名）

へいち あさひかわ しりつだいよんちゆうがっこう しょうわ ねん がつ あさひかわだいなちゆうがっこう につ  
を併置しました。旭川市立第四中学校は、昭和23年4月に旭川第七中学校（日  
新小併置）と統合し、光陽中学校として開校しました。昭和23年4月、PTA

けつせい あさひ しょうがっこう たいしやう ねん がつ にち きやういくこうえんかい せつりつ  
が結成されました。（朝日小学校では、大正6年5月21日に教育後援会が設立さ

れており、昭和22年5月に後援会の解散にともないPTA設立の準備がなされて  
いました）

しょうわ ねん がつ ひがしまちしょうがっこう かいこう じどう めい いどう  
昭和29年9月には、東町小学校が開校され、児童220名が移動しました。

しょうわ ねん がつ ようご びやうじやく がつきゆう せつち じどうすう めい  
昭和31年9月、養護（病弱）学級が設置されました。（児童数17名）

しょうわ ねん がつ つうがくいき へんこう めい ひがしまちしょうがっこう いどう  
昭和31年11月に、通学区域の変更によって、268名が東町小学校に移動し  
ました。前年の昭和30年の学級数は36学級で児童数は、1800名を超えて  
いました。また、完全給食も開始  
されました。

しょうわ ねん がつ きゆうしよく  
昭和39年10月には、給食  
ぜんこくひやうしやう じゆしやう  
の全国表彰を受賞しました。

がくねんべつ しどうけいかくひやう さくせい こんだて  
（学年別指導計画表の作成、献立  
こくばん せつち きゆうしよく はいふ  
黒板の設置、給食だよりの配布  
けいはつ きゆうしよくがくしゆう じかん はい  
による啓発、給食学習時間の配  
とう ないやう  
当と内容）

しょうわ ねん がつ こうしやかいちく  
昭和39年12月には校舎改築  
こうじ かんりやう さんだいめ  
工事が完了しました。（三代目の  
こうしや  
校舎）

しょうわ ねん がつ かいちくこうじ  
\* 昭和31年11月に改築工事が  
かいし かんせい ねん  
開始され、完成までほぼ10年の  
さいげつ  
歲月となりました。

しょうわ ねん がつ とよおかしょうがっこう かいこう じどう めい いどう  
昭和41年10月、豊岡小学校の開校にともない児童51名が移動しました。

かいこう しゆうねん しょうわ ねん がつ がくえんか あさひおんど せいてい  
開校70周年の昭和53年7月、学園歌「朝日音頭」を制定しました。

### 学園歌「朝日音頭」

〈昭和53年7月制定〉

高橋 恒雄(4年) 作詞  
田辺 富子(5年) 作曲  
佐藤 晴美(5年)

(♩ = 100~105)

1. あさひの こと もが あつまれば なんにも  
おそれる ことはな い グランド プール  
たい いく かん どこ から どこまで あおぞら  
さ ぼくら は みんな あさひの こ

#### 「朝日音頭」

- 一、朝日の子どもが集まれば  
なんにもおそれることはない  
グランド プール 体育館  
どこからどこまで青空さ  
ぼくらはみんな朝日の子
  - 二、朝日の子どもが集まれば  
『伸びゆく広場』がはじまるぞ  
くりの木 おんこ ナナカマド  
夢がいつばい はずむ声  
みんなななまき友だちさ
  - 三、朝日の子どもが集まれば  
大きな力がわいてくる  
国算社理 ドンとこい  
『本気で元気で根気よく』  
みんなななかく手をつなごう
- （補詞 教諭 川原良昌  
補曲 教諭 松浦欣也）

へいせい ねん がつ こうしやかいちくこう じらくせい よんだい め こうしや げんざい  
平成4年7月～校舎改築工事落成（四代目校舎：現在）



あさひ しょうがっこう しょうわ ねんだい こんにち つね もんぶ かがくしょう かみかわきょういくきょく けん  
朝日小学校は、昭和40年代から今日まで常に、文部科学省や上川教育局の研究  
きょう していこう せつきよくてき う どうじ さいせんたん きょういく あ かた けんきゅう ぜんどう  
指定校を積極的に受け、その当時の最先端の教育の在り方について研究し、全道  
ぜんこく へつしん つづ ねん  
・全国へと発信し続けています。また、108年  
れきし なか のほ そつぎょうせい  
の歴史の中で、17,017名にも上る卒業生  
はいしゆつ かつかいかくそう かつやく  
を排出し、各界各層で活躍しています。

あさひ しょうがっこう ほんき げんき  
朝日小学校は、これからも「本気で元気で  
こんき こうくんと あさひ あさにながま  
根気よく」の校訓のもと、朝日しぐさ・朝日構  
えを身に付けた優秀な人財をはぐくみ、そし  
はつてん  
て発展していきます。



校旗